

ボランティアセンターニュース

ボランティアさんにインタビュー！

特技や好きなことを活かして活動しているボランティアさんをご紹介します♪

かない あきら
金井 晃さん

障害者作業所「空とぶくじら社」で行われているアート活動「わくわくタイム」に、元美術教師の金井晃さんが講師としてボランティア参加されています。

絵の具や和紙を使って季節の花・コスモスを表現するこの日の活動では、色選びから貼り方まで自由な発想が尊重され、参加者の表現力が少しずつ広がっていく様子が印象的でした。「先生見て！」と笑顔で話しかける利用者さんに、金井さんは優しく応え、安心感のある空間をつくっていました。はじめは小さな絵しか描けなかった方が、大きな絵を描けるようになったり、単色しか使わなかった方がカラフルな作品に挑戦したりと、さまざまな変化が生まれています。金井さんは「自分の得意なことが誰かの役に立つのは嬉しい」と語り、スタッフと協力しながら活動を支えています！

「好き」や「得意」を活かしたボランティアが誰かのためになっているのはボランティアをする側にとっても嬉しいことですね！

「必ずほめて終わる」「喜びを大きくする」
「遊びとしてとらえる」資料に素敵なメモ書きが…

お祭りボランティア

施設でのお祭りで活動されたボランティアさんにインタビュー！

ボランティアと聞くと、「毎週決まった時間に通わないといけない」「長期間の参加が必要」と思っていませんか？実は、施設や地域のお祭りやイベントのお手伝いなど、1日だけ・数時間だけの「単発ボランティア」もたくさんあるんです！お仕事などで忙しい方や、スケジュールが変わりやすい学生さんにもぴったり。

単発ボランティアの中でも依頼の多い、お祭りボランティアについて参加したボランティアさんに感想を聞いてみました！

ボランティアさんの声

来場者の笑顔に元気をもらえるのが、お祭りボランティアの魅力。事前説明や時間配分もスムーズで、ボランティア活動が終わった後も施設の方々にお気遣いいただき感謝しています。これからも参加し、新しく加わる方々とも楽しく関わっていきたいです。

（熊崎 裕嗣ボランティア/70代）



お祭りボランティアでは、さまざまな人や子どもたちと触れ合えるのが魅力。施設に通う方や入所者の方々との出会いを通じて、少しでもお手伝いができたら嬉しい。初めての場所でも安心して活動できるよう、丁寧な説明や具体的な指示があるとありがたいです。主催者の力になれるよう、これからも積極的に参加したいと思っています。

（亀岡 洋ボランティア/60代）

お祭りボランティアに参加したい場合の詳しい流れについては裏面をチェック！

旭区ボランティアセンターでは「一人ひとりが活躍できる」、「心地よい居場所になる」ことを目指し日々コーディネートしています。ボランティアを始めたいけど何からやったら良いか分からない…、どんなボランティア活動があるのか知りたい！など活動に少しでも興味・関心のある方はお気軽にご相談ください。